

slaf Hc # 1578

自分概我國ニ行ハルル方式ニ從ヒ先ヅ別紙ノ通り宣誓ヲ爲シタル上次ノ如ク供述致シマス

極東國際軍事裁判所

亞米利加合衆國其他

對

荒木貞夫其他

宣誓供述書

供述者 佐 場 友 彦

一 私ノ現在ノ住所ハ小田原市入生田七九番地デアリマス。

二 私ハ一九三四年近衛公爵ガ聖米利加合衆國へ旅行セラレル際ニ秘書トシテ御供到シマシタ。一九三七年カラ一九三九年迄ノ第一次近衛内閣、一九四〇年カラ一九四一年迄ノ第二次及第三次近衛内閣ニ於テハ私ハ内閣總理大臣秘書官トシテ近衛公爵ヲ助ケマシタ。一九四一年十月第三次近衛内閣ガ辭職シタ後モ私ハ個人的秘書役トシテ近衛公ヲ御助ケ致シタノデアリマス。

三 近衛公ノ日米交渉ニ關スル手記ノ成立及其ノ性質ニ就イテ申上ゲマス。

一九四一年十月、第三次近衛内閣辭職後間モナク公爵ハ今回ノ日米交渉ハ重要ナル事柄デアルカラ記憶ノ新ナル間ニ之ヲ記録ニシテ置キタイト云ハレノ記録ヲ作成スルヤウ之ニ關スル各種ノ材料ヲ私ニ與ヘラレマシタ。ソコデ私ハ之ヲ充分ニ研究シ整理シテ一案ヲ作り御示シマシタ處公爵ハ自ら筆ヲ執ツテ充分ニ検討修正セラレテ完成シタノガ近衛公手記ノ本文デアリマス。此ノ本文ノ完成シタノハ日米開戦前即チ一九四一年十一月中デアリマシタ。其ノ後ソレニ更ニ別紙一

Ref. No. # 1575

ニテ添加シタノガ近衛公手記ノ全部デアリマス。右ノ別

Ref Def #02 #1578

紙ト言フノハ本文ニ参照セラルベキ公文書デアリマス。相違ニ就イテ説
明スレバ次ノ通りデアリマス。近衛公爵ハ昭和十六年夏頃ヨリ館宅後毎
晩個人的秘書ノ新屋茂樹ニ其ノ日ノ出来事ヲ口授シテ筆録セシメラレマ
シタ。此ノ日記ノ中、日米交渉ニ關係スル部分ヲ抜萃シテ編纂セラレタ
ノガ補遺デアリマス。

以上本文、別紙及ビ補遺ノ三部ヨリ成ル手記ガ完成シタノハ一九四二年
ノ春デアリマシタ。右記録ノ標題ハ「第二次及第三次近衛内閣ニ於ケル
日米交渉ノ經過」トシテアリマシタ。

一、右記録ハ日本文「タイプライター」ニテ白紙ニ印刷セラレ凡ソ八、九十
頁ヨリ成ツタト思ヒマスガ数部複製シ東京都杉並區菫窪ノ近衛公爵邸ニ
保管サレテアリマシタガ一九四五年九月當時米日爆撃調査團ガ近衛公爵
ヲ呼び出シ取調ベテ實行シタ際其ノ一部ヲ公爵ヨリ調査資料トシテ提出
致シマシタ。右調査團ニ於テハ其ノ後之ヲ翻譯シ其ノ譯文ガ本文ト相違
ナキヲ確ムル爲私ニ檢閲ヲ求メマシタ。其ノ譯文ハ自分ガ全部目テ選シ
其ノ大部分ハ私力訂正シマシタ。殘リノ部分ハ尙不満足ナ點モアリマス

Ref Doc # 1578

ガ大体意味ニ於テ原文ト相違アリマセン。

眞珠灣攻撃調査ニ關スル米國議會合同委員會ノ聽取書第二十卷一

ニ證第一七三號トシテ掲載シテアルモノガ私ノ修正シマシタ近衛公手記ノ註文デアリマス。

一、前記記録ハ右ノ外ニ公爵邸ニ尙二部餘部ガ存シテ居リマシタガ一九四五
年近衛公爵死去ノ際國際檢察局ガ同邸ニ出張シテ二部トモ之ヲ押收シテ
持テ歸リマシタ。ソレ故ニ今日デハ近衛家側ニ於テハ此ノ記録ノ原本ハ
所持シテ居リマセン。

一、近衛公爵ハ戦争ガ二年以上経ツタ時ニ右記録ノ或ル部分ヲ縮メ或ル部分
ハ修正シタモノヲ邦文「タイプ」ニ附シ複製サレタコトガアリマス。此
ノ分ニハ別紙モ補遺モ除イテアリマスガ別紙及補遺ノ記事中必要ナ事項
ハ本文中ニ組入レテアリマス。
右縮少及修正ハ近衛公自身ガ自分ノ監督ノ下ニナサレタモノデ其ノ意思
ニ基イタモノニ相違アリマセン。而シテ之ヲ謄寫版ニ附シ各方面ニ廻サ

Ref. No. # 1575

レタコトガアリマス。朝日新聞ニ掲載セラレ又日本電報通信社等カラ發行シタモノハ此ノ謄寫版刷リノモノヲ印刷ニ附シタモノデアリマス。併謄寫文書第一五七九號ハ日本文五十二枚ハ右謄寫刷リノ一部デアリマス。表紙ニ在ル「日米交渉」ノ題字ハ公爵ノ筆蹟ニ相違アリマセン。

一六ニ近衛公ノ書カレタ「三國同盟」ニ就イテノ成立ニ付テ申上ゲマス。之ハ終戰ノ年即チ一九四五年ノ五月又ハ六月頃ニ公爵ガ自ラ書キ下サレタモノヲ伊藤進史君ヤ私ヤ其ノ他二、三ノ者ニ御示シニナツテ意見ヲ求メラレ我々ガ加ヘタ意見ヲ少シハ採用セラレテ之ヲ日本紙ニ「タイプ」ササレ更ニ相當數ヲ謄寫シテ友人ノ間ニ配布セラレタセノデアリマス。併謄寫文書第一五八〇號ハ日本文十三枚ハ右「タイプ」ノ一部デアリマシテ近衛家ニ存在シタモノデアリマス。

之ヲ作ラレル動機ハ當時世間デハ日獨伊三國同盟ガ米英トノ戰爭原因デアアル旨論ズル者モアリマシタノデ事ノ真相ハ必ズシモサラデハナイ事ヲ證證シ反駁スル爲ニ書カレタモノデアリマス。

近衛公逝去ノ時國際檢察局ハ公爵ヨリ前ノモノト同様此ノ謄寫版刷リ

Leaf No # 1578

モノヲ押收シ持テ歸ツテ居リマス。會ツテ朝日新聞ニ連載セラレ又日
本電報通信社ヨリ發行セラレタモノハ近衛公ガ友人ニ贈寫配布セラレタ
モノノ複製デアリマス。

Ref No # 1578

昭和二十二年（一九四七年）四月十五日

於極東國際軍事裁判所轄内

供述者 牛場 友彦

右ハ當立會人ノ面前ニテ宣誓シ且ツ署名捺印シタルコトヲ證明シマス

同日於同所

立會人 清 瀬 一 郎

Shuf Hor # 1578

宣 誓 書

良 心 ニ 従 ヒ 眞 實 ナ 事 々 何 事 ナ モ 黙 秘 セ ズ 又 何 事 ナ モ
附 加 セ ザ ル コ ト ナ 誓 フ

小 摺 印

牛

場

友

彦